

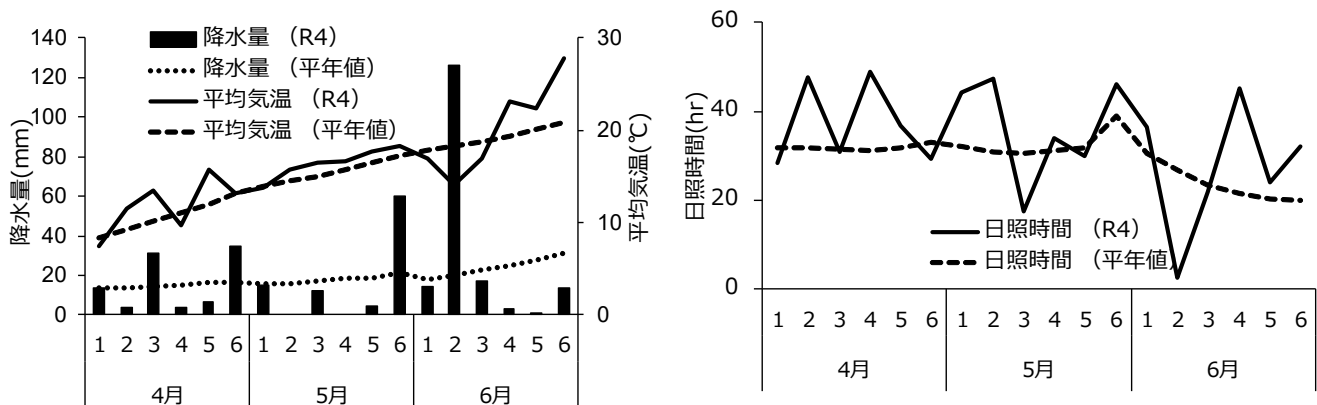
# 仙台稲作情報2022（第4号）

宮城県仙台農業改良普及センター TEL：022-275-8410 FAX：022-275-0296  
<http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai> E-mail：sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

## 栽培管理のポイント

- ▷中干しは、幼穂形成期前までに終わらせましょう。
- ▷病害虫防除は、防除適期を逃さず計画的に実施しましょう。
- ▷追肥は、稲の葉色や生育ステージを確認して実施しましょう。

## 1 気象経過



## 2 管内の生育状況（7月1日の調査結果）

### (1) 移植栽培（ひとめぼれ）

草丈は49.3cm，茎数は530本/m<sup>2</sup>で，概ね前年並及び平年並の生育となっています。葉色（GM値）は42.6で，この時期の目安（40前後）の範囲となっています。

表1 7月1日の調査結果

品種	地帯	場所	田植日	草丈 (cm)			茎数 (本/m <sup>2</sup> )			葉色値 (GM値)		
				本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市宮城野区	5/15	45.8	91	96	335	73	80	44.1	+4.3	+2.2
	北部平坦	大郷町鶴崎	5/16	51.3	102	109	586	102	98	42.0	+3.8	+0.4
	西部丘陵	仙台市泉区	5/11	50.9	91	95	669	103	120	41.6	+0.9	-1.3
	管内平均			49.3	95	100	530	93	99	42.6	+3.0	+0.4
ササニシキ	北部平坦	大和町鶴巣	5/12	49.4		104	451		69	41.9		-1.1
	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/7	53.5	103	103	583	100	110	45.2	+3.8	+3.5
	管内平均			51.5		103	517		90	43.6		+1.2
だて正夢	北部平坦	大郷町土橋	5/20	49.2	92	98	384	93	89	41.7	+2.9	-1.0
	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/10	59.8			461			39.6		
	管内平均			54.5			423			40.7		
金のいぶき	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/18	47.0			391			42.0		

※平年とは、直近3か年の平均値。ただし、大和町鶴巣「ササニシキ」は、前年（R3）の調査を実施していないため、平成30年から令和2年までの3か年平均。

## (2) 乾田直播栽培

草丈は51.6cm、茎数は623本/m<sup>2</sup>と前回調査より概ね倍増しており、順調な生育となっています。

表2 7月1日の調査結果

場 所 (地帯区分)	播種日 (月/日)	出芽日 (月/日)	苗立数 (本/m <sup>2</sup> )	苗立率 (%)	6月10日		6月20日			7月1日		
					草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (GM値)	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (GM値)
仙台市若林区 (仙台湾沿岸)	4/10	5/11	142	78.8	19.1	228	31.4	325	42.2	51.6	623	43.5

品種：ササニシキ、播種量：5kg/10a、苗立数：稲が4葉期前後になった6月3日に調査



6/10 生育状況



6/20 生育状況



7/1 生育状況

## 3 本田管理

### (1) 移植栽培

#### 1) 水管理

- ・中干しは遅くとも幼穂形成期前に終了し、終了直後は走り水程度として徐々に湛水状態に戻しましょう。その後は出穂期まで飽水管理とし、土壌を酸化的に保ち、根の活力を維持しましょう。  
※飽水管理とは、水田の足跡に水が無くなったなら入水し、表土が十分湿ったら落水する水管理です。
- ・幼穂形成期から減数分裂期に、日平均気温20℃以下が長期間続く場合や最低気温17℃以下の場合には障害不稔が発生する危険性が高くなりますので、できるかぎり深水管理を実施しましょう。  
※幼穂形成期：幼穂長が1～2mmに達した時 減数分裂期：幼穂長が30～120mmに達した時

#### 2) 病虫害防除

##### ①いもち病

- ・病虫害防除所による発生予察情報（令和4年6月24日発行）において葉いもちの発生量は「やや少ない」と予報されています。
- ・箱施用剤を使用していない場合は水面施用剤による予防防除を実施しましょう。
- ・7月中旬より、箱施用剤の効果は低下し始めるとともに葉いもちの感染好適条件が出現しやすい時期となります。ほ場を見回り、発病が見られた際は速やかに茎葉散布剤で防除しましょう。
- ・BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件の推定結果は、以下の病虫害防除所ホームページを参照してください。<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>

##### ②紋枯病

- ・病虫害防除所による発生予察情報において発生量は「平年並」と予報されています。
- ・近年、発生が目立つ病害です。前年に発生が多かったほ場では多発のおそれがありますので、穂ばらみ期の水面施用剤、穂ばらみ期～出穂期の茎葉散布剤で防除しましょう。
- ・病斑は水際の葉鞘に現れるので、茎葉散布剤による防除では、株元に薬剤（液剤、水和剤、粉剤）がよく付着するよう十分な薬量で散布しましょう。



病斑

##### ③斑点米カメムシ類

- ・病虫害防除所による発生予察情報において発生量は「やや少ない」と予報されています。
- ・イヌホタルイ、ノビ工等の水田雑草は、斑点米カメムシ類の水田への侵入を助長するので、7月上旬までに中・後期除草剤を用いて除草を行いましょう。特に6月下旬時点で、イヌホタルイが残っていると落等する確率が高くなるため注意しましょう。

- ・生息地である水田周辺のイネ科雑草を刈り取ることで、水田における斑点米カメムシ類の増殖を抑え、斑点米被害粒率を抑制することができます（図1）。
- ・水稻の出穂前後の畦畔の草刈りは斑点米カメムシ類を水田内に追い込むことになるため、水稻が出穂する10日前までに行いましょう。

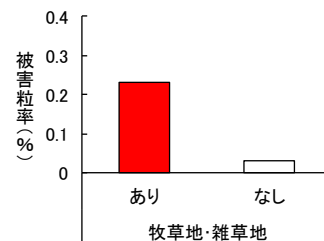


図1 水田周辺の牧草地・雑草地の有無別の斑点米被害粒率  
(令和3年 宮城県病害虫防除所)

### 3) 追肥

- ・葉色は今後低下することが予想されます。ほ場をよく観察し、適切な追肥を行い穂揃期の葉色維持に努めましょう。
- ・追肥時期の葉色、品種ごとの時期及び施用量については表3、表4を参考にしてください。
- ・ほ場により生育が異なるので、幼穂長による生育ステージの確認を必ず行いましょう。
- ・追肥後一時的に稲体窒素濃度が高くなると、いもち病に対する抵抗力が弱くなるので、いもち病の発生に注意しましょう。
- ・基肥に穂肥の時期まで肥効のある緩効性肥料を施用した場合または復元田の場合は、倒伏が懸念されるため、原則として追肥は行いません。
- ・「金のいぶき」の葉色は幼穂形成期頃から「ひとめぼれ」より淡く推移しますので、追肥をする際は葉色に注意しましょう。

表3 生育ステージにおける葉色の目安

品 種	幼穂形成期	減数分裂期
ひとめぼれ	38~40	35~37
ササニシキ	34~36	32~34
まなむすめ	35~37	36~38
だて正夢	40~42	37~39
金のいぶき	33~35	30~32

※ 葉緑素計 (SPAD値)

表4 穂肥の標準的な窒素施用量の目安 (成分量/10a)

品 種	幼穂形成期	減数分裂期
ひとめぼれ 金のいぶき	1.0kg	1.0kg
ササニシキ	—	1.0~1.5kg
まなむすめ つや姫	2.0kg	—
だて正夢	— (茎数が少ない場合は1kg)	2 kg (幼穂形成期に 1kg追肥した 場合は1kg)

## (2) 乾田直播栽培

基本的には移植栽培と同じ管理となりますが、以下の病虫害の発生に注意しましょう。

### 1) いもち病

直播栽培は、移植栽培より生育ステージが遅く、感染のタイミングが遅れる傾向があります。ほ場を見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。

### 2) イネツトムシ

通常は8月上旬頃から加害が始まります。特に葉色が濃い部分に産卵されることが多く、直播栽培で問題となることがありますので発生に注意し、防除が遅れないようにしましょう。

## 4 東北地方の向こう1か月の天候の見通し (6/30仙台管区气象台発表)

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- 前線や湿った空気の影響を受けにくい時期があるため、向こう1か月の日照時間は平年並か多いでしょう。

### ■宮城県農薬危害防止運動実施中 (6月1日~8月31日)

宮城県では、6月から8月にかけて農作物等の病虫害が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

（ 次回の稲作情報第5号は、7月11日に実施する生育調査の結果をもとに7月12日頃の発行となります。 ）